

みずほCustomer Desk Report 2018/02/08 号(As of 2018/02/07)

国際為替部 為替営業第二チーム

昨日の市況概要	公示仲値		109.44	
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD
TKY 9:00AM	109.62	1.2380	135.72	1.3958
SYD-NY High	109.72	1.2406	135.84	1.3993
SYD-NY Low	108.92	1.2246	133.84	1.3849
NY 5:00 PM	109.33	1.2263	134.07	1.3882
NY DOW	24,893.35	▲ 19.42	日本2年債	-0.1400
NASDAQ	7,051.98	▲ 63.90	日本10年債	0.0700
S&P	2,681.66	▲ 13.48	米国2年債	2.1236
日経平均	21,645.37	35.13	米国5年債	2.5557
TOPIX	1,749.91	6.50	米国10年債	2.8331
シカゴ日経先物	21,855	▲ 415.00	独10年債	0.7415
ロンドンFT	7,279.42	138.02	英10年債	1.5500
DAX	12,590.43	197.77	豪10年債	2.8400
ハンコ指数	30,323.20	▲ 272.22	USDJPY 1M Vol	9.10
上海総合	3,309.26	▲ 61.39	USDJPY 3M Vol	8.95
NY金	1,314.60	▲ 14.90	USDJPY 6M Vol	8.98
WTI	61.79	▲ 1.60	USDJPY 1M 25RR	-2.00
CRB指数	192.34	▲ 2.41	EURJPY 3M Vol	9.57
ドルインデックス	90.37	0.78	EURJPY 6M Vol	9.37

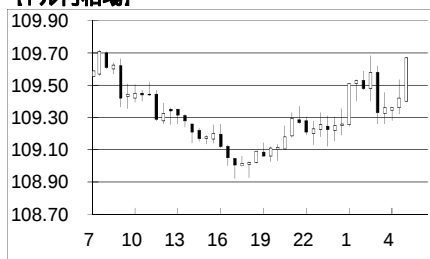
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月7日	16:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	12月 -0.6%/6.5%	-0.7%/6.8%
	20:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	「賃金上昇、必ずしもインフレ加速につながらず」	
	21:00	米 MBA住宅ローン申請指数	- 0.7%	-
	22:30	米 グドリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	「経済見通しに変更なし」	
2月8日	00:15	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	「次の利上げは年央くらいまで待つべき」	

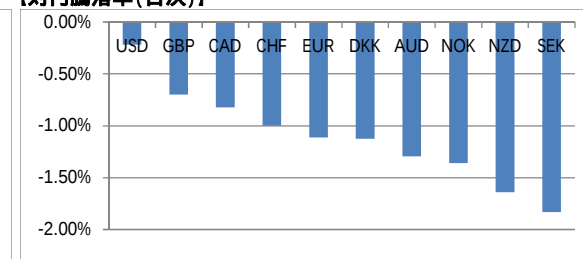
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月8日	07:20	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	-	中 貿易収支	1月 \$54.65B	\$54.69B
	-	中 輸出/輸入(前年比)	1月 10.7%/10.6%	10.9%/4.5%
	16:00	独 貿易収支/経常収支	12月 21.0B/28.0B	23.7B/25.4B
	21:00	英 BOE金融政策決定会合 政策金利	- 0.500%	0.500%
	22:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 232K	230K
	23:00	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.50-110.00	1.2200-1.2300	133.50-135.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外市場のドル円はやや上昇。米株式市場がまだ不安定ながらも一部落ち着きを取り戻したことや、米上院指導部が2年間の予算で超党派の合意が成立したとの発表を受け、ドル円は上値は重いながらも底堅く推移し、109円台前半で引け。本日のドル円は引き続き株などのリスク資産や債券市場の動きに左右される展開を想定。

東京	東京時間のドル円は109.62レベルでオープン。日経平均株価が前日比391円高で寄り付き、一時743円超高まで上げ幅を拡大する堅調推移となったものの、ドル円の反応は目立ったものとはならず、109円台半ばを中心としたもみ合い推移が続いたが、109円台後半での上値の重さが確認されたことや日経平均株価が次第に上昇幅を削る展開となったこと等からドル円もじり安推移に。米暫定予算の上院採決を巡る不透明感も意識される中、一時109.14まで下落した後、109.18レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.18レベルでオープン。NY時間に上院の新たなつなぎ予算案の採決が実施されること等から様子見ムード。方向感乏しく小動きし、109.27レベルでNYに渡った。ユーロは1.2382レベルでオープン。ドイツ大連立交渉が合意に至り、小幅に買われる場面もあったが、米株先物の堅調地合いを背景にドルが買われたことから、ユーロは対ドルで1.2334に低下。1.2342レベルでNYに渡った。ポンドは1.3954レベルでオープン。メイ英内閣はEU離脱プランで週内に合意できない見通し(政府当局者)が伝わったことに加え、英産業戦略相がEU離脱後について確かなことは言えないと発言したことが嫌気され、1.3873まで下落。1.3906レベルでNYに渡った。(ロンドン・ルリ- 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	海外市場でドル円は108.92まで下落する局面もあったものの、ドル買いが優勢となったことから109.37まで戻し、109.27レベルでNYオープン。主要な米経済指標の発表が予定されていない中、EPA・シカゴ連銀総裁が「インフレが上昇するのなら一段の利上げを支持する」との発言をしたことや、グドリー・NY連銀総裁が「株式市場が下落したからといって見通しは変わっていない」との発言をしたこともあり、ドル買いが継続。また、米暫定予算案が2年間の予算での超党派の合意が成立し、8日に上院で採決されることとなったことから、ドル円は109.68まで上昇。その後堅調に推移していた株式市場が横ばいまで下落する展開に、円買戻しが強まり、109.26まで下押しするが、再びダウが上昇に転じ、25,000ドル台へ戻す動きに109.70まで反発。終盤に掛けては、ダウが再びマイナスイ圏に転じると、ドル円も反落し、109.33レベルでクローズした。一方、ユーロは海外市場でドル買いが強まったことからじり安で推移し、1.2342レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が暫く続くが、Fedメンバーの上記の発言等を受け、徐々にドル買いが優勢となり、加えて堅調な株式市場が横ばいまで下落する展開に、ユーロの売りが強まり、ユーロも連れて1.2246まで下落する。終盤に掛けては1.2482まで買い戻される局面もあったが、株式市場が小幅安で引ける動きに上値を抑えられ、1.2263レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:藤巻・森谷